

## NO.5 5 憲法をめぐる対立と運動の激化

- プリントと一緒に学習してみてください。

# 自由民権運動の演説会



自由民権運動が広がるのをおそれた政府が警察を使って演説を中止させようとしている

自由民権運動者

# 新しい憲法を作ろう

## ②日本帝国憲法(五日市憲法草案)

45条 日本国民は、各自の権利や自由を達成することができ、他からこれをさまたげてはならない。国の法律はこれを保護しなくてはならない。

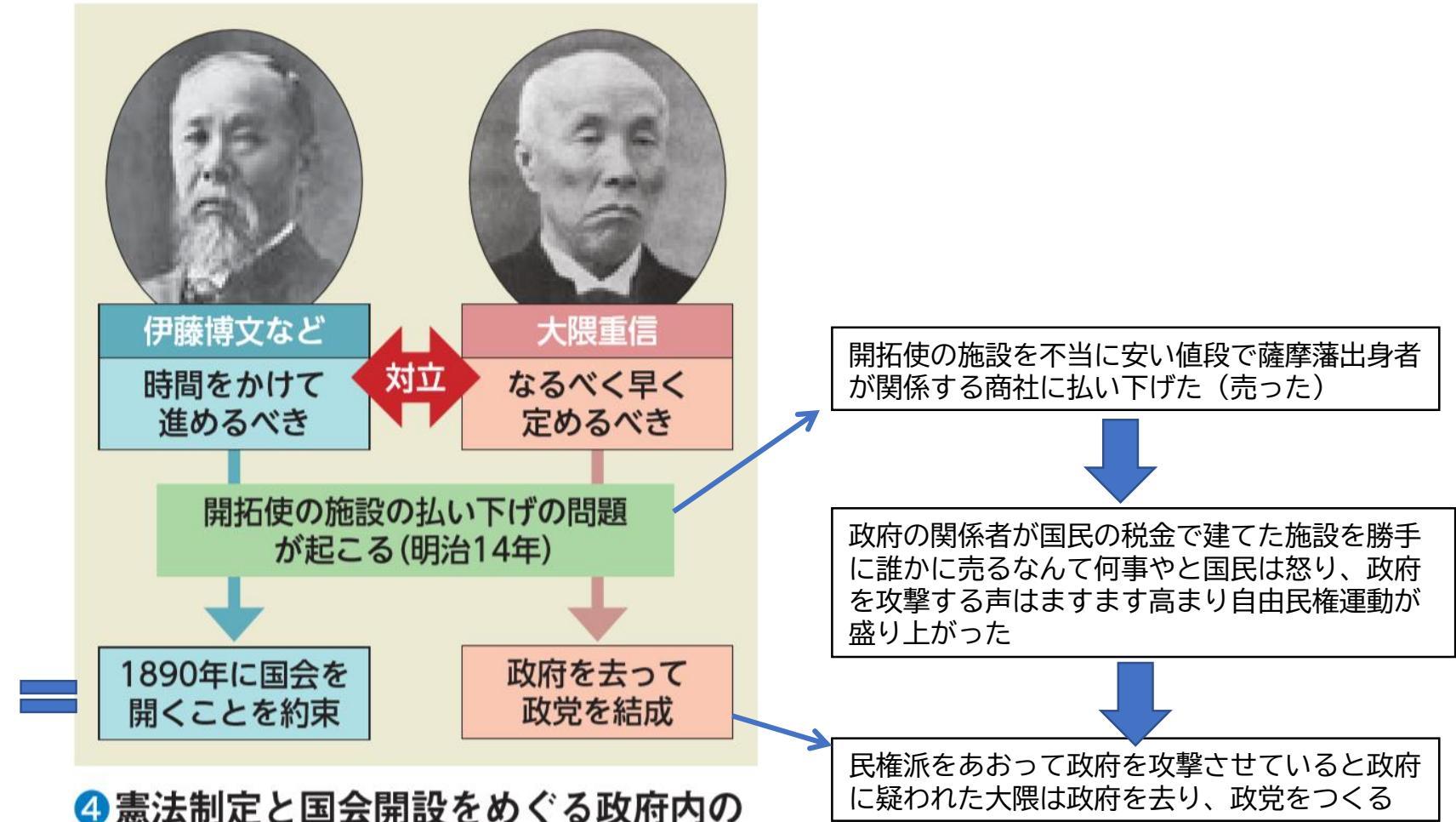
112条 政府が、国民の自由の権利や法律上の平等の権利を侵害したり、憲法を守らなかったり、または国の防衛に努めなかったりした場合、国会はこれに反対し、そうした法律や命令の公布を拒否する権利をもつ。

(一部要約)

民間の人の中にも、理想とする憲法や政治のしくみを研究する人々が現れた

みんしゅう  
**民衆がつくった憲法私案 東京の五日**  
市(現在のあきる野市)の小学校の先生が、  
付近の人々と討論してつくったものです。

# 憲法制定と国会開設をめぐる政府内の対立



# 政党の結成

政府を去った板垣と大隈は10年後の国会開設に向けて政党を結成

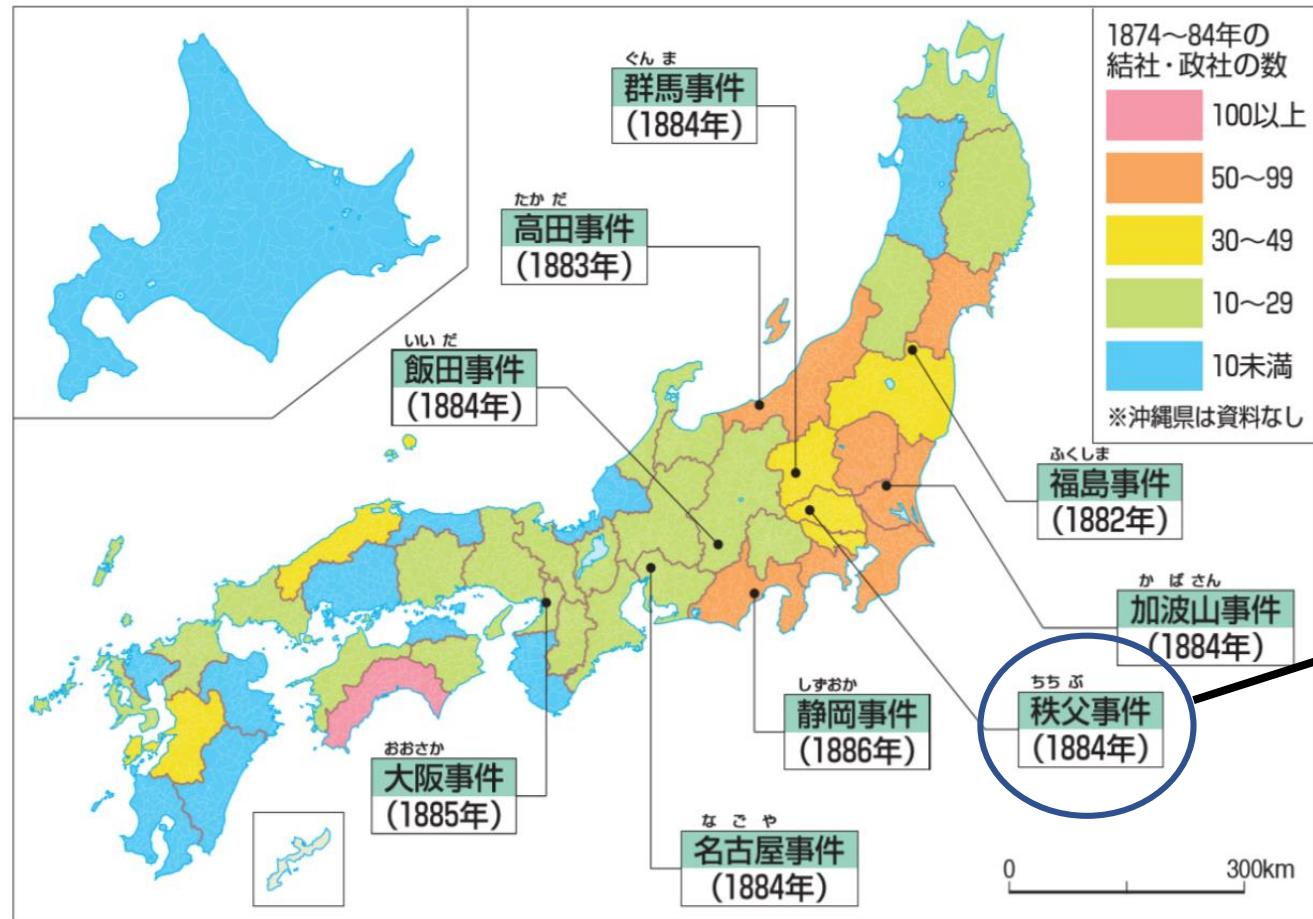


板垣退助は自由党を  
大隈重信は立憲改進党を結成

党名	自由党	立憲改進党
結成	1881年	1882年
	板垣退助	大隈重信
代表者 (結成時)		
性格	フランス流の 急進的な 自由主義	自由党より ゆるやかな イギリス流の 立憲主義
主張	一院制 普通選挙	二院制 制限選挙
支持者	士族・小地主・ 自作農など	大商人・大地主・ 都市の知識人など

## ⑥自由党と立憲改進党の比較

# 自由民権運動派が起こした事件



このころ政府は税金を上げ、国民の生活は苦しくなった

増税に怒った農民らの中から打ちこわしなどの事件がおきる。その中でも一番大規模なものが埼玉県の秩父地方で農民と一部の自由党員が起こした**秩父事件**である

これらの反乱をおさえるために政府は自由民権運動を弾圧、自由民権運動は急速におとろえていった